

2023.9.28 (木)
第12回例会
(通算3727回)

2023-2024 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第85代会長 後藤 公貴
副会長 樋口 貴広
幹事 佐藤 貴之
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2023-2024 年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう
2023-2024 年度
RI会長 ゴードン R. マッキナリー
第2500地区ガバナー
鶴見 誠一郎 (叙別港 RC)

月間テーマ 基本的教育と識字率向上月間

本日のプログラム 講師例会「川湯温泉の再開発について」(プログラム委員会)

次週例会 講師例会「外国人労働者の雇用と実態」(プログラム委員会)

■ロータリーソング：それこそロータリー ■ソングリーダー：田中 弘明君

■会員数 103名

■ビジター

■ゲスト 川湯温泉旅館組合・組合長・株式会社川湯ホテルプラザ代表取締役社長 榎本竜太郎様

会長の時間

後藤 公貴会長



皆さま、こんにちは。お食事の方はどうぞお続けください。

まずはご報告です。先週末の日曜日に第7分区の事業、『釧路ロータリアンマスターズゴルフコンペ』が開催をされました。11組48名の参加があったそうです。釧路ロータリークラブからも10名の参加をいただきました。お忙しい中、時間を作っていただきました皆さまに感謝を申し上げます。

そして朗報です。釧路ロータリークラブより優勝者を輩出してしまいました。優勝者は、北海道新聞社釧路支社長・吉岡君です。よって、高橋エレクト年度は「幹事年」ということで運営の全てをわれわれがやることになっております。高橋エレクト、どうぞ次年度幹事にはくれぐれもよろしくお伝えをお願い申し上げます。

先ほど、釧路北クラブの菊池会長よりPRがございました。地区補助金を活用された青少年育成事業であります『はじまる祭り』、皆さまのテーブルにもパンフレットがございます。9月30日の土曜日10時30分から15時までのプログラムです。時間を作っていただける方は先ほど菊池会長よりあった、この地域を知る、

そして青少年の育成につなげる趣旨ですので参加の程、よろしく願い申し上げます。

今朝の道新の釧路・根室版にも掲載されておりました川湯地区の話題、本当にタイムリーでうれしいと思う限りです。川湯温泉の再開発について川湯温泉旅館組合・組合長の榎本様に貴重なご講話を頂戴いたします。何度も申し上げますとおりは本年度、「この地域を知ろう・この地域を学ぼう、そして語ろう」をテーマに掲げさせていただいております。本日もこの地域、特に観光に関しては切っても切れない地域となっております。

本日も講師のお話を聞きながら、深く学び、有益な時間を皆さまと共有させていただきたいと思っております。

本日より、どうぞよろしくお願い。

幹事報告 佐藤 貴之幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告になります。先ほどのご案内と重複があります。北クラブ様の地区補助金事業のご案内です。先週9月21日に皆さまにメールにてパンフレットをご案内させていただいております。この日ですが、釧路クラブの野遊会も時間が12時からで重なっています。

北クラブさんの方が10時半からということで、時間があります方は、北クラブの事業に参加していただいて、途中抜けられて、私たちは14時で終わります。14時半ごろ手に手をつなぐにまた戻っていただいて、

ロータリーソング歌っていただければと思っております。

私たちの釧路クラブの野遊会ですが、人数にまだ余裕があります。締め切りは本日であれば可能です。時間に余裕のある方、事務局までご連絡いただければと思います。

続きまして、地区大会のご案内です。昨日、地区から詳しいスケジュールと大会の駐車場の案内が来ております。参加される方には昨日メールしております。運転手の方は車を止める場所をもう一度確認いただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

ご挨拶 釧路北ロータリークラブ 菊池 美恵子会長

皆さま、こんにちは。本日は、例会の貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。北ロータリークラブ会長・菊池美恵子でござ



います。席におりますが副幹事の真壁茂希です。どうぞよろしく願いいたします。

今日お伺いさせていただきましたのは釧路北ロータリークラブ補助金事業のご案内でした。新聞でご存じの方もいるかもしれませんが、釧路の始まり、釧路の歴史に深く関わりのある物が凝縮されている貴重な場所『佐野碑園』で秋の始まりを感じながら青少年事業をする予定です。

「現代は生きた過去の実績である」と、あるイギリス歴史学者が言っております。釧路に育った子どもたちに、自分たちはどこからやって来たのかのルーツを見直してもらい、釧路の街づくりのために苦勞し、生き抜いてきた自分たちの先祖を思い、自分も釧路のために、誰かのために、みんなのために何かをやらなくては、という心を育むことができたらというロータリーの青少年事業です。

皆さまのお手元のチラシにありますように、様々な団体、子どもたちが協力してくれます。県人会では無料提供の物も用意していただいております。子ども縁日も無料となっています。昔、九州佐賀藩が釧路を統治していた時期があったことから派生することですが、25年振りに復活する北電さん所有の『龍踊』でにぎにぎしく進める予定です。何より子どもたちの釧路の始まりをテーマにしたパフォーマンス・頑張りに拍手を送って、子どもたちに自信を持って行動する力をつけてあげたい。未来の土台作りができればと思っております。

最後に 14時半ごろからギネス記録になるようなロータリーの第7分区の大きなロータリーの輪をみんなで作って、ロータリーソングを歌う予定になっておりま

す。

皆さまもぜひ 14時半ごろ来ていただければ大変嬉しく存じます。みんなでロータリーソングを歌いあげたいと願っております。どうぞよろしく願い申し上げます。お待ち申し上げます。

お時間をいただきましてありがとうございます。よろしく願いいたします。

■本日のプログラム■ 講師例会「川湯温泉の再開発について」

プログラム委員会 八幡 好洋委員長

プログラム委員会の委員長を担当しております八幡です。こんにちは。本日は川湯温泉から榎本さんにお越しをいただいております。

皆さん、ご存じかと思いますが川湯温泉は、歴史のある温泉地ですが、いま非常に大きな転換点を迎えられております。報道でありますとおり、星野グループの新しいホテルができることで話題になっております。その地域の若手のリーダーとして活躍されている榎本さんから今後の展望についてお話をお伺いさせていただきます。

榎本さん、ぜひよろしく願いします。

川湯温泉旅館組合組合長・(株)川湯ホテルプラザ

代表取締役社長 榎本 竜太郎様



皆さま、こんにちは。ご紹介いただきました川湯温泉街旅館組合で、現在組合長させていただきます。株式会社川湯ホテルプラザ代表

の榎本竜太郎と申します。

本日はロータリークラブ例会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

今日は限られたお時間の中ではあるのですが、私の何者かというところの自己紹介と、いま川湯温泉でどういう計画で再開発が進んでいるのかを資料でご説明させていただきますと思います。その後、計画に対してやはり地域内で賛同できるところ、賛同できないところ、と意見が割れているところも少しずつ出てきております。そういう地域の生の声をお伝えさせていただければと考えております。

私は名前が榎本竜太郎と申します。北海道の川湯温泉で生まれ育ちました。私は、中学校から川湯温泉を出ていて、中学・高校と大阪のP L学園に進学しております。野球で行ったのですが、実力が足りず硬式野球部には入れず、軟式野球を中学・高校とやってまいりました。その後、中央大学の経済学部へ入り、卒業し

た後にツアープランナーオブジャパン、皆さまは聞いたことないと思いますが、30人ぐらいの中小の旅行会社で7年ほど勤めた後、2011年にホテルプラザに帰ってまいりました。

2011年という東日本大震災の年です。私は4月1日から勤務だったのですが、お客さんがおらず、1日・2日・3日と3日連続の休館から始まった地元に戻っての仕事始めでした。

その後、2013年頃からインバウンド、海外のお客さんも少しずつ増えてきて、国内も観光のムードが高まってきた、だいぶ観光も。川湯温泉も宿も少なくなってきた、会社の業績も少しずつ改善して、2017年に代表を私の父から引き継ぎ現在に至るところです。

川湯温泉の旅館組合は、実は2012年2013年あたりに一度解散しております。旅館組合がないと行政との対話や要望は一社の意見では行政は聞いてくれないので、「話をするのもにも困る」というお話も行政からいただきつつ、2019年に川湯温泉の旅館組合を再結成しました。平成の初期には20軒以上ありました旅館も、再結成時には4軒まで減りました。その中で現在、組合長という立場でやらせていただいております。

創業の名前は違うのですが「川湯ホテルプラザ」という名前で、川湯温泉で長くやらせていただいております。コロナ禍に入ってから2020年に、昔の「川湯第一ホテル忍冬」が倒産しましたので、金融機関のご協力をいただきそちらを買取りまして、現在は「お宿欣喜湯別邸忍冬」と「お宿欣喜湯」の2館の運営を川湯温泉でしております。



創業の名前は違うのですが「川湯ホテルプラザ」という名前で、川湯温泉で長くやらせていただいております。コロナ禍に入ってから2020年に、昔の「川湯第一ホテル忍冬」が倒産しましたので、金融機関のご協力をいただきそちらを買取りまして、現在は「お宿欣喜湯別邸忍冬」と「お宿欣喜湯」の2館の運営を川湯温泉でしております。

会社の企業理念は書いてあるとおりでありますが、こういう理念を社員と共有してやっていかないと自分の思い描いたような旅館経営ができないなということで、カードサイズの「企業理念」と「コア・バリュー」「社員の行動規則」といったものを記したものを作成して、全社員に配布しながら企業理念をなるべく会社に浸透させるようにしております。ただ、社員に急に「うちの企業理念、言えるか」と話をしても、まだ言える社員がなかなかいないのが現状で、社員に浸透していくのは難しいなと思いつつやっております。

早速、川湯温泉の再開発について、これは昨日の朝刊の記事に出ていたと思います。また今朝の朝刊の記事でもまた道新さんが発信されていたのですが、ここに書いてあるとおりで20年かけて約97億円の投資を川湯温泉で予定をしております。

すでに長く廃墟であった2軒のホテルの取り壊しが

完了して、いま更地になっています。あと追加で2軒の取り壊し工事を進めているところです。そういう取り壊しの金額を含めての再開発になっていくのです。

再開発をやっていくのにモデルとしている地域があります。あまり報道が出ていないと思うのですが、山口県に「長門湯本温泉」という所があります。近年では、プーチン大統領が来た時に、総理が長門湯本温泉の「大谷山荘」という所にご招待をした。またその時に「獺祭」という日本酒を出して、その獺祭の価格がどんどん上がっていったことがあります。

ここが長門湯本温泉の現在、再整備したところの景色です。長門湯本も川湯と同じように旅館の廃屋が増えてきて、長門湯本温泉にも川があるのですが、その川を中心に街づくりをしていくところを川湯もモチーフにしています。長門湯本にも星野リゾートは進出しております。そういった関係で、この長門湯本をひとつのモチーフにしています。

結構前から長門湯本の方ではしているのですが、2020年にもともとあった廃屋のホテルを完全撤去して、星野リゾートが1から建てたという、まさに川湯と同じようなスタイルで街づくりを進めている所です。

川を中心に再開発をする所で、「川湯には川があるのか」ですが、川湯には実は細いのですが温泉の川があります。2~3年前の当時、小泉環境大臣が来たり、赤羽前国交大臣が来たりした時も、「この温泉の川があるという景色は、川湯にしかない景色だ。素晴らしい景色だね」ということで報道陣がたくさんいる前で小泉大臣からもお言葉をいただいたのですが、われわれは大浴場の温泉をろ過して温泉川に流したりして、あまり観光資源としてずっと見てこなかったところが、外からの目を見た時に「これが観光資源になるんだ」と気づきがあったところです。まさに今、川湯の温泉川を中心に再開発の計画を進めております。

ここから実際に川湯地域の再生会議で使われている資料を今回お持ちしました。行政からは「外に出すな」と言われているのですが、せっかくの機会ですので、写真とかはNGでよろしくお願ひします。

こちらが川湯の全体マップになるのですが、ここに欣喜湯があって足湯がある所です。どのように川湯温泉街を再整備していくかというところで、やはりテーマが必要となり、川湯の特徴や今後売りになるのは何かを、町内は国立公園なので環境省、弟子屈町、コンサルの先生を交えながらいろいろ協議をしました。

まず「温泉川は1つの特徴だ」というのと、あと川湯温泉街に入ったら結構アスファルトが多いので感じないと思うのですが、少し温泉街から歩いて行くと森がたくさんありますので「もっと森を感じられるような温泉街にしていくべき」という話があります。夏の夜

の時間には夕食後は外を散策されるお客様も多いので「もっと歩いて楽しくなるようなライトアップ・照明を使ったら」「歩きやすくする点においては歩行者専用の道が必要」という話です。そのうえで地域住民には負担がかかるのですが「車両を規制したらどうか」というところで、テーマが「温泉川を中心とした歩きたくなるような街を作っていこう」と決められました。右側に小さい文字でいろいろと書いているのですが、川湯温泉の宿泊のピークが平成2年だったのですが、どうして4件になるまで潰れてしまったのだろうか。飲食店も平成初期には料理店組合に100件以上の加盟があったところ、今では10件ほどになっています。まさに90%ダウンみたいです。本当に商売が成り立たない街になってしまったのはなぜなのかを地域内で協議した時に、「もう少し景観とか、高さ規制も含めて、ルール整備が必要だった」という話も出てきました。

これから再整備をする、計画を作る中でも、民有地もたくさんありますので、そこを民間に買われて設備投資を他の会社がする時にある程度拘束力のあるルールを決めていかないと、好き勝手にやられて、ダメになったらその建物だけを捨てて行くことが川湯温泉で平成初期からずっと今の今までやられてきたので、まずはルール化・条例化も踏まえての街づくりの協議がされております。

再開発をしていくのに温泉街をもっと細分化して、細かく区画に分けて、今あるところの土地・建物を誰が所有しているのかを把握しないと街づくりはできません。そういう調査も行政が中心となってやってきました。現在の土地・建物の所有と合わせて、今やっているお土産店とか、居住している民家がどうなるのか。例えば、80歳の経営者がやっているお土産店は10年後、20年後、おそらく息子さんなりに事業承継をしないと続いていかないだろう。そういう10年、20年を見据えた調査をしてまいりました。細かいところを話すといろいろあるのですが、今まで漠然と森の中を温泉街にする街づくりをするみたいな議論はされてきました。

では、そのテーマに沿った温泉街を作っていくのに、もっと細かくどうということするのかを考えられるようになりました。そういうことをやって来ました。ちょっと細かすぎて見えないと思うのですが、再開発エリアを分類分けして、では2023年にここをやって、2024年にここをやって、という大まかなプランニング表も作成しております。

少し荒い画像で大変申し訳ないですが、2023年現在の温泉街での20年計画なのですが、まず中間の第3フェーズまでの12年、これをどういうふうに川湯温泉を変えていくのかが今議論がされているところです。

特に2023年から2026年。2026年が1つの区切り

になって星野リゾートが進出するのがもう決まっています。開業が2026年とされています。もう報道発表もプレスリリースもされています。その2026年の星野リゾート開業はひとつの川湯の転機になりますので、それまでに何を整備していくのかを今重点的に地域の中で話し合われています。

これが現在のところなのですが、どこを重点的にやっていくのかといいますと、今、新聞でも出ていたのですが、『川湯広場』という水着を着て川湯温泉の泉質を楽しめるような、イメージはまだ固まっていなくて、コンサルが出してきた川湯ラグーンのイメージが、川湯温泉の住民の中で反対にあっているのが今まさに起こっています。昔、ここが美園ホテル、隣に川湯グランドホテルがあったのですが今、まさにそこを取り壊している所です。その左隣に昔、川湯プリンスホテルという全国チェーンのプリンスホテルとは違う、川湯のプリンスホテルがあったのですが、そこは昨年度に取り壊されて、そこに星野リゾートの『界』が進出するというので今、土地の下地の調査をしていると聞いています。おそらく着工が来年で、2026年に開業すると。

その星野リゾートが開業しただけでは、星野リゾートにはお客さんは来るかもしれませんが、川湯がどんどんお客さんがくるとはわれわれも考えておりません。星野リゾートとどのように集客していくかで、集客の目玉になるような所がないといけない。そこをしっかり公共投資で整備していきましょと、今、まさに議論されているのが川湯広場です。

先ほど申し上げたとおり、当時、最初に川湯広場の町民説明会があったのですが、川湯ラグーンという名前で、イメージ図をアイランドのブルーラグーンみたいな、すごく人工的なもので大々的に説明したもので、住民からこの感じは川湯温泉の温泉場として、またテーマの「歩きたくなるような森の中の温泉街」には合わないのではないか、ということで会議のたびに出てくる図面をまだ訂正しているような状態が続いています。

2026年で20億円近くの民間投資と公共投資を合わせた形で計画を進めております。もうそろそろ形を決めて、具体的な設計やプロモーションをどうするのかの話もしないといけないタイミングになるのですが、少し足踏みをしている状態です。星野リゾートの進出に合わせて川湯広場という投資が一番のポイントになっております。

次の話になるのですが、これが2030年のイメージ図です。ちょうど私どものホテルがここにあったのですが、イメージ図ではホテルが取り壊されています。

まあ、イメージなのでいいのですが。

川湯ラグーンを中心に歩くのを楽しんでいただくためには休むための場所が必要だったり、夜ライトアップ

して歩いていただくには、お酒とかそういった時間とお金を使うような場所が必要だというので、取り壊した私のホテルの隣に「川湯横丁」というのを開業したり、ちょっと見にくいのですが流れている温泉川沿いに「川湯テラス」というのを開業したり、あと「森のアクティビティゾーン」と書いていますが、ここはキャンプサイドでRVパークだったり。あとは、情報発信としてビジターセンター的なものを作る計画がいま話されております。

歩くテーマに関しては、温泉川が3本あるのですが、川湯横丁、川湯テラス、この森のアクティビティゾーン、川湯広場、全部が温泉川でつながっています。その温泉川の遊歩道をしっかり整備して、またライトアップによって街の回遊性を高めて、このテーマである森の中の温泉街を歩きたくなるような街づくりを進めているところです。

これは2035年のイメージ図です。先ほどの2030年から5年かけてもっと緑化をして、あと今から12年後は、空き店舗、廃業とかをとおして増えていくと思います。そういう空き店舗の活用促進をもっとやっ行ってこうと計画を作っております。

これだけの投資を集める計画をしておりまして、今日の道新でも97億円のうち20億円と少しが公共投資、残りの60何億円については民間投資を予定しているものですから、北大の先生にも入っていただいて協議を進めているのですが、60何億円の投資をどのように募るか。どのようにお金を集めていくか。集めたお金をどのように使っていくか、が次の課題として挙がっています。

それを解決する1つの手法として「街づくり会社」を新たに作ります。ここに書いてあるイメージのとおりなのですが、公的なファンドと民間のファンドも含めて、街づくり会社の中でしっかり事業計画を策定して、そういう協力を得ながら施設運営をしていける環境を作ろうと、今、街づくり会社をどのように作って行くかの議論もされ始めております。

では、その街づくり会社、誰が社長やるのかとかはこれから議論されて行くのですが、いずれにしても国立公園という土地柄、環境省はもちろんこれから90何億円の投資が入ってくる街で、行政とか官公庁プラス民間企業がいろいろ協議をしながら計画をどのように具体的に進めていくのか、これから町内で意見を揉み合ってやっていく予定でおります。

今日、お話できるのはこれぐらいなのですが、川湯広場について反対意見が出ているのも、やっぱり事前説明がなく、行政と限られた人間だけで作り上げたものを急に町民に町民説明会という形で出したものですから、反発が非常に大きかったという反省も踏まえ住民対話で、またいずれにしても街づくり会社も地域から応援される会社でないと続かないと思います。そう

いった環境をいかに作るかで、まだまだ勉強が足りないところもあります。

そういった気持ちで私も川湯温泉の再生に一部分ですが関わらせていただいております。

もちろん地域の中で応援していただくのも大事なのですが、やっぱり川湯温泉も釧路管内にあります。昔から釧路のお客様、周辺のお客様にも支えられて続けてきた温泉地です。一時の川湯温泉は、サービスも食事でも低下して、結構ひどい目にあつたとか、いろいろと経験されて、正直、嫌な経験もされてきている方もいらっしゃると思います。インバウンドとか外客だけではなく、もっと広い観点で応援していただける地域になって行きたいと思っております。今後とも皆さま、川湯温泉をよろしく願いたします。

以上で私の発表とさせていただきます。ありがとうございます。

会長謝辞 後藤 公貴会長

本日は大変お忙しい中、お時間を作っていただき私どもの例会で、それもあまり門外に出してはいけない貴重な資料をご使用いただいたの講話を大変ありがとうございました。

夢と希望あふれる街づくり、街おこし・地域おこしをするのはやっぱり大きなハードルや大きな苦勞が必ず伴う気が僕はするのです。まさに生まれ変わる川湯温泉街の夢と希望あふれる街、そしてそれをけん引する榎本様が地域を愛していて、地域に誇りを持っているからこそ歩みがどんどん前に進んでいることを感じさせていただいて、大変感銘を受けました。

ぜひこの後も体には十分ご留意されて、世界に誇れる川湯温泉街の創造にご尽力を続けていただければと思います。ぜひこれからも忙しく毎日をお過ごしください。

本日は誠にありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 船木 博君 先日、大正天皇・昭和天皇御陵に参拝して参りました。場所は高尾です
- 木下 正明君 お祭りも無事に終わらせることができました。ご協力ありがとうございます。
- 後藤 公貴君 4年ぶりに釧路すえひろはしご酒大会を開催します。
- 吉岡 和美君 未だに実感がありませんが、はからずも24日開催の第7分区ロータリアン・マスターズゴルフ大会に優勝してしまいました。新参者の私がさらに予期していなかったのは、来年の大会の幹事を当釧路クラブが務めるといふ「名誉ある副賞」まで獲得してしまいました。不覚にもダブルペリアの罠に二度もハマったことをお許し下さい。もちろん来年の準備・運営には率先して取り組ませて頂きますが、皆様のご支援なくしては何もできません。大変恐縮ですが、何卒よろしくお願い申し上げます。本日は出張につき例会を欠席させていただきます。
- 菊池美恵子君 釧路クラブ様の弥栄をご祈念申し上げます

今年度累計 99,000 円